

令和2年度

# 和泉市いきいきネット相談支援センター

## CSW活動報告【概要版】



**C** 困ったときの

**S** 相談は

**W** 私たちへ

生活の不安や困りごと…

**どこに相談**したらいいんやろ

こんなお悩みないですか？



相談風景

生活費に困っている…



働いていない息子。私が元気  
なうちは何とかできるけど…



最近、お隣さんの様子  
がいつもとちがう…

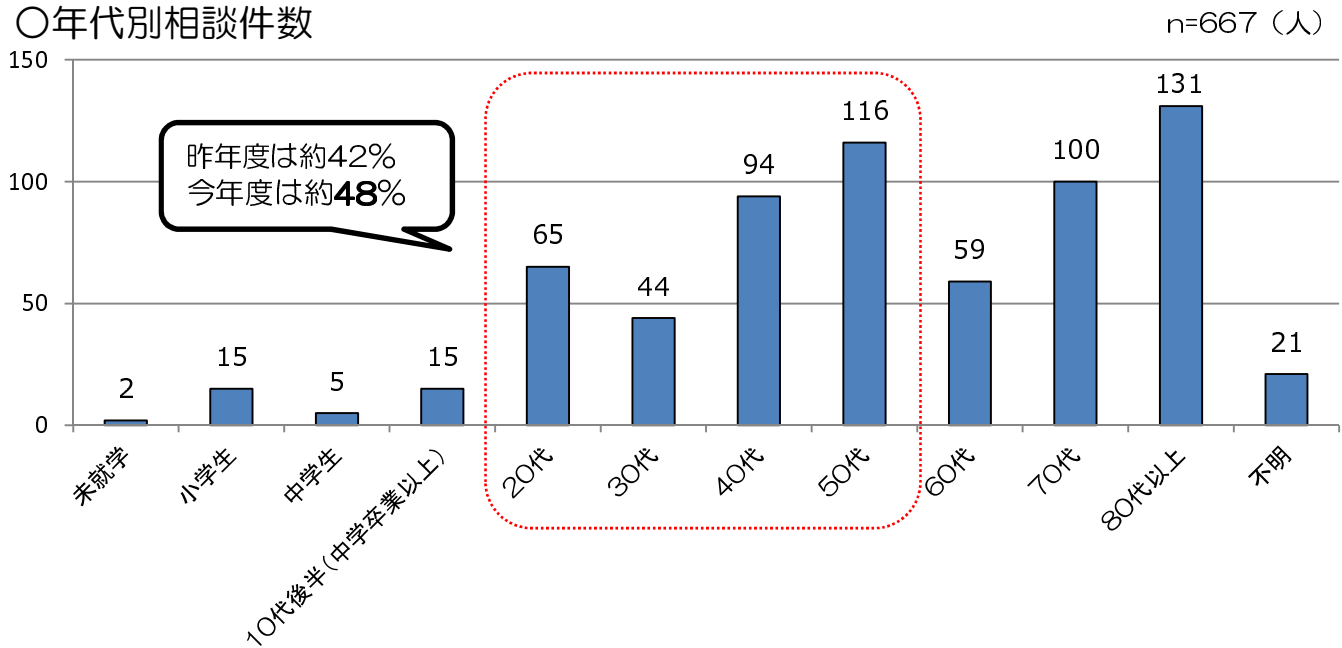


子育て、毎日の生活  
が大変で疲れた…

# 相談件数と主な内容について

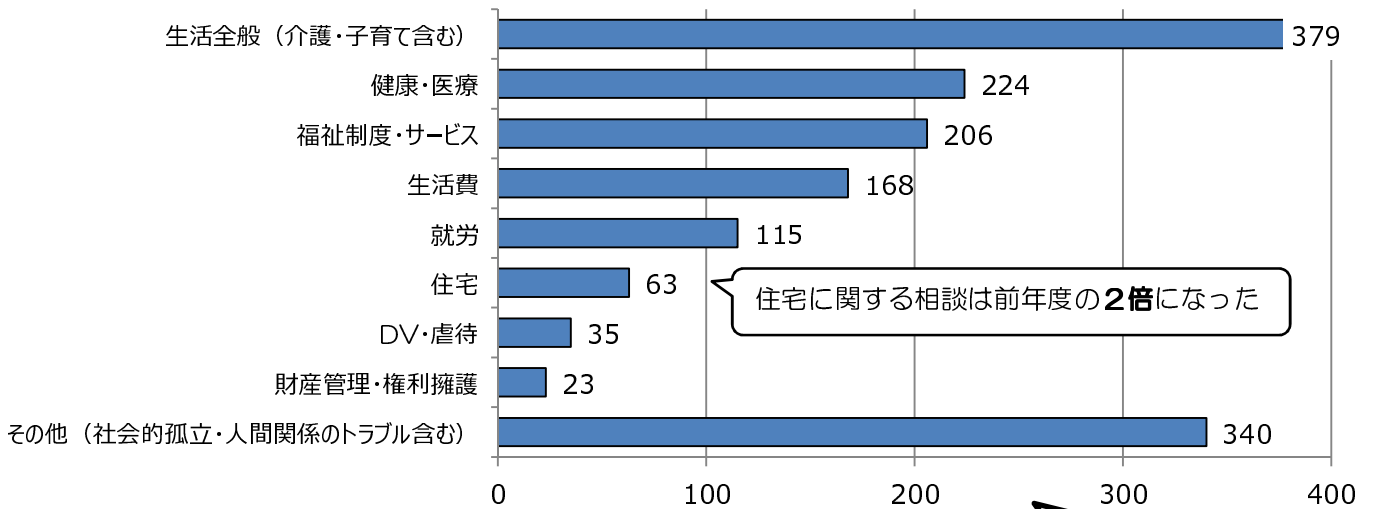
○相談実数 667件

○年代別相談件数

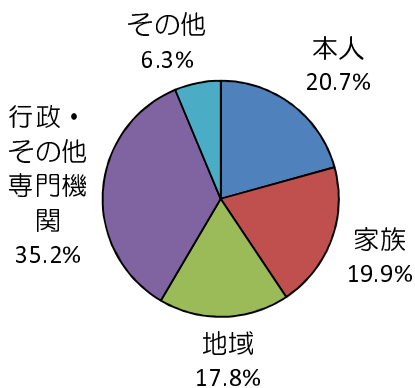


○内容別相談件数（重複あり）

n=1,553 (件)



○相談経路



相談者数は減少したが、複合的な相談で長期にわたる支援が必要なケースが多く、内容別相談件数は増加した。  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下、コロナ禍とする）による給付金関係の相談、生活費や住宅に関する相談が特に多くなった。

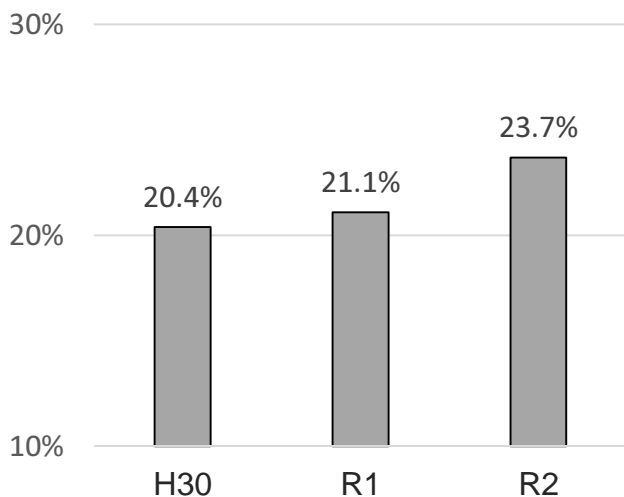
地域で顔を合わせる機会が減少し、「CSWの顔をみたら聞いてみよう」と身近に感じてもらうことでつながっていた地域からの相談が減少した。

地域の内訳：民生委員・児童委員、町会・自治会関係者、ボランティア、友人知人など

## ○社会的孤立

注釈：CSW部会として「社会的孤立」は職に就いていない、ひきこもり、不登校などで家族としか会話をしない、近隣のつながりが全くない、もしくはあっても極端に少なく、人との交流がほとんどない状態を表している。  
(65歳以上の方は高齢者の閉じこもりとしてカウントしている。)

### 社会的孤立・閉じこもり 状態の相談割合



#### コロナ禍における相談傾向や特徴

- ・元々社会的孤立状態の方はより孤立し、孤立していなかった方も、社会的孤立状態に陥っている方が増加している。
- ・急を要すること以外の相談はしづらい状況が発生している。
- ・支援者からも地域からも課題を抱えている方がより見えづらくなり、以前より発見しづらくなっている。
- ・一家全体で孤立している方も増加傾向。
- ・コロナ禍の中でも人との交流意欲がある方がいる。

社会的孤立状態にある方に向けて、社会参加へのきっかけづくりとして当事者同士が交流出来る場として「とまり木会」を実施してきた。

昨年までは小物づくりや食事会等を通して交流を図ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを活用した新たな形で交流会を実施した。

CSWの各事業所や参加者の自宅等からオンラインにて参加して頂き、コロナ禍でも交流を図ることが出来た。状況が落ち着けば実際に会って交流したい、との意見が出ている。今後は対面とオンラインの両方を活用したハイブリットな形での交流も企画していきたい。



### 交流会「とまり木会」 オンラインにて開催

#### 【CSWが目指すこと】

コロナ禍では、対面での交流や相談が難しいため、今まで以上に社会的孤立状態に陥りやすい環境が生まれ、貧困や虐待などの課題と直結しやすい状況が増している。  
このような中でも、支援のネットワークを途切れさせることなく、社会的孤立や複合多問題などへの支援を継続していくためにも、今までの支援に加え、オンラインの活用やさらなる相談者の発見に向けたアウトリーチが必要になってくると感じている。CSW現任者部会としても、このような課題に対応していくための課題検討を継続し、次年度も地域や関係機関の皆様と課題共有やより密な連携の形を模索していきたい。



# 事例紹介

就職



仕事が続かない息子…  
どこか良い就職先はないか

1



ケアマネよりCSWのことを教えてもらった母から相談が入る。50歳の息子がいるが、高校卒業後から1年と仕事が続いたことがなく、収入も不安定。最近ではストレスからか息子が体調不良を訴えることが増えている、と相談が入る。

2



訪問し母、息子と定期面談。息子の生育歴を聞き取っていくと、小学生のころから勉強について行けず、今も計算が出来なかったり、人の顔が覚えられなかったり仕事や生活面で困りごとがあることが分かった。

3



息子が抱えている生活のしづらさの原因を知るため、医療機関の受診を勧めていき、CSWが同席して受診を行う。検査の結果、発達的な偏りと知的な課題を抱えていることが分かった。

4



障がい者手帳を取得し、障がい者雇用を含めた転職活動をしている。息子は自分の得意なこと不得意なことが把握出来たことにより、工夫して生活や仕事出来るようになり精神的な安定も見られてきている。

## 【CSWによる支援内容】

- ①（課題整理）生活や仕事のしづらさがいつからどのような場面で見られるか、詳しく聞き取り課題の整理を行った。
- ②（情報提供）息子が抱えている生活のしづらさの原因を把握するため、医療機関からの見立てをもらうことを勧め、受診についての情報提供を行う。
- ③（つなぎ・寄り添い支援）息子のみの受診ではパニックになり上手く話すことが出来ないため、CSWが同席し受診を行う。
- ④（見守り支援）障がい者雇用を含めた転職活動を行う中、引き続きCSWが見守りを行い、都度相談をお聞きしている。